



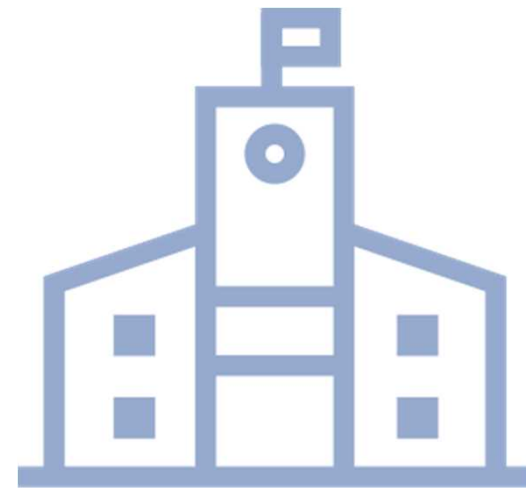
文部科学省

MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

新型コロナウイルス感染症対策に伴う児童生徒の
「学びの保障」総合対策パッケージ
【詳細版】

令和2年6月5日
文部科学省初等中等教育局

基本的な考え方



基本的な考え方

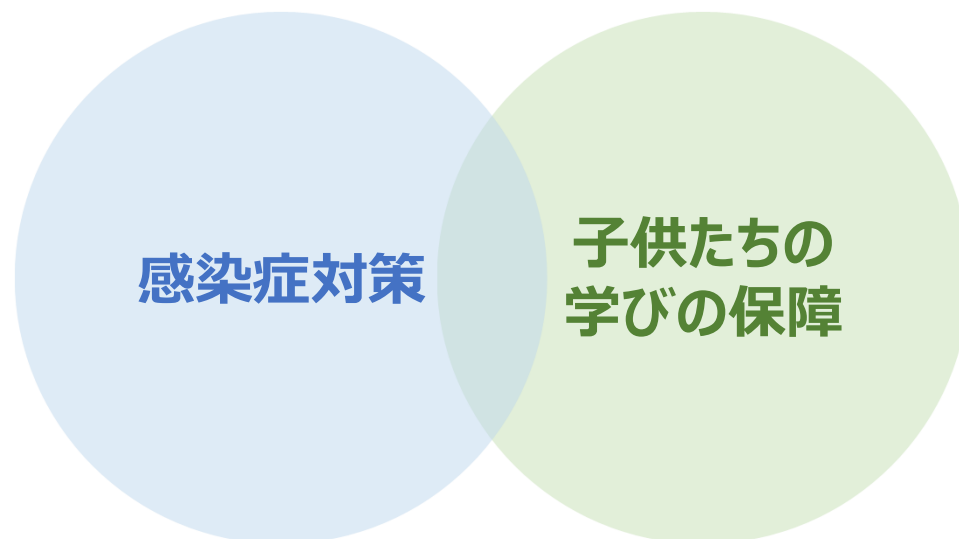
社会全体が、長期間にわたり、新型コロナウイルス感染症とともに生きていかなければならない状況



感染症対策と子供たちの健やかな学びの保障の両立

感染症対策を講じつつ、学校教育が協働的な学び合いの中で行われる特質を持つことに鑑み、**学校教育ならではの学びを大事にしながら教育活動を進め**、最大限子供たちの健やかな学びを保障

——**新学習指導要領**の目指す学びを着実に実現



基本的な考え方

▶ 臨時休業中も、学びを止めない

やむを得ず臨時休業を行わなければならない場合であっても、学校が課す**家庭学習**と、**教師によるきめ細かな指導・状況把握**により、子供たちの**学習の継続**及び学校との関係の維持を徹底

▶ 速やかに、できるところから学校での学びを再開する

ゼロか百かで考えるのではなく、感染拡大のリスクを最小限にしつつ、人数・日時を限った**分散登校の積極的な活用**などにより、**できるところから学校での学びを再開**

▶ あらゆる手段を活用し、学びを取り戻す

感染防止に配慮しつつ、**時間割編成の工夫**、**長期休業期間の見直し**、**土曜日の活用**、**学校行事の重点化**などのあらゆる手段を用いて、協働的な学び合いを実現しつつ**学習の遅れを取り戻す**

▶ 柔軟な対応の備えにより、学校ならではの学びを最大限確保

特例的措置も活用した教育課程の見直しや**ICT環境整備**などを含め、柔軟な対応が可能となるための準備を進め、一旦収束しても再度感染者が急激に増加するような場合であっても**学校ならではの学びを最大限に確保**

臨時休業中も、学びを止めない

速やかに、できるところから
学校での学びを再開する

あらゆる手段を活用し、
学びを取り戻す

柔軟な対応の備えにより、学校
ならではの学びを最大限確保

感染拡大の状況にかかわらず、子供たちの学びを最大限に保障

こうした基本的な考え方を踏まえ、文部科学省として...



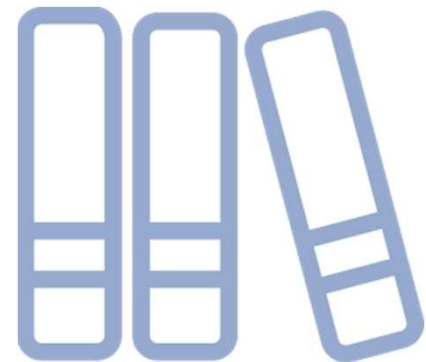
I. 効果的な学習保障のための学習指導の考え方の明確化

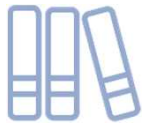


II. 国全体の学習保障に必要な人的・物的支援

を実施

I .効果的な学習保障のための 学習指導の考え方の明確化





効果的な学習保障のための学習指導の考え方の明確化

新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、年度当初に編成した教育課程を見直すことが必要な場合の基本的な考え方

新学習指導要領の趣旨を踏まえて、教育課程を編成

○以下の点に留意

- ・「何ができるようになるか」（育成を目指す資質・能力）を意識した上で、「何を学ぶか」（指導すべき内容）を明確化し、「どのように学ぶか」（指導方法）を柔軟に見直し
- ・知・徳・体にわたる「生きる力」を子供たちに育むため、資質・能力の三つの柱をバランスよく育成するとともに、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた指導方法の工夫・改善を図る
- ・地域や家庭の協力も得て学習効果を最大化できるよう、カリキュラム・マネジメントを行う

◆登校日の設定、分散登校の実施、時間割編成の工夫、長期休業期間の見直し、土曜日の活用、学校行事の重点化や準備時間の縮減等により、学校における指導を充実

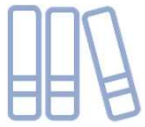
◆上記の取組を行ってもなお、年度当初に予定していた内容の指導を本年度中に終えることが困難な場合の特例的な対応

①次年度以降を見通した教育課程編成

②学校の授業における学習活動の重点化

◆各設置者において各学校の教育活動への支援を行うとともに、各都道府県教委等においては域内の設置者への支援

※私立学校に対しては、都道府県所管課において学校教育の専門的事項の助言・援助等を活用し、教育委員会と連携して各設置者の取組を支援（地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条の5）。

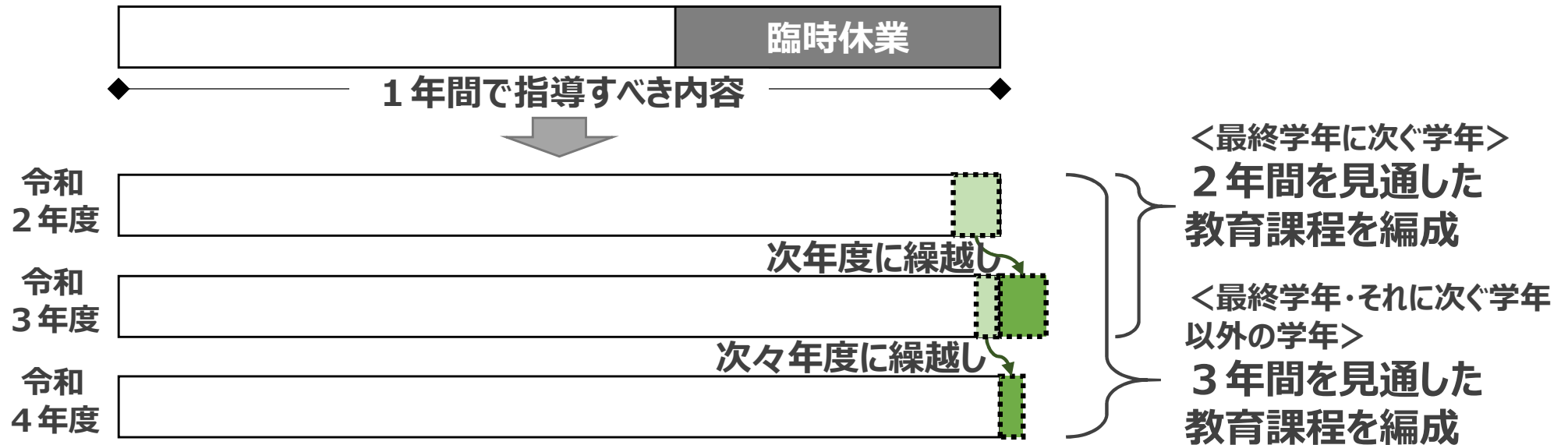


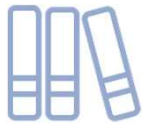
効果的な学習保障のための学習指導の考え方の明確化

次年度以降を見通した教育課程編成

今般の事態を受けた**特例的な対応**として、各学校において本年度指導を計画している内容について学年内に指導が終えられるように努めても、なお臨時休業及び分散登校の長期化などにより指導を終えることが難しい場合には、**令和3年度又は令和4年度までの教育課程を見通して検討を行い、学習指導要領において指導する学年が規定されている内容を含め、次学年又は次々学年に移して教育課程を編成**

→最終学年に次ぐ学年は令和3年度を含めた2年間、それ以外の学年は令和3年度及び令和4年度を含めた3年間を見通した教育課程の編成によって、**無理なく学習の遅れを取り戻す**ことを可能とする





効果的な学習保障のための学習指導の考え方の明確化

学校の授業における学習活動の重点化

今般の事態を受けた特例的な対応として、学校の授業で行う学習活動を、**教師と児童生徒の関わり合いや児童生徒同士の関わり合いが特に重要な学習への動機付けや協働学習、学校でしか実施できない実習等に重点化**（個人でも実施可能な学習活動の一部をICT等も活用して授業以外の場において行う）

→限られた授業時数の中で、**学習指導要領に定める内容を効果的に指導**

※定着が不十分な児童生徒には、別途個別に必要な措置を講じる

※これ以外に、感染症対策を講じてもなお感染の可能性が高い学習活動については、指導順序の変更など、必要な措置を講じる

学習活動の重点化のイメージ【例】

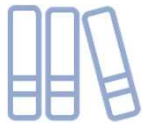
- ・国語科において、**学校における課題設定を踏まえ、授業以外の場で意見文等を作成させる**
- ・数学科において、**学校における練習問題の取組を限定し、宿題の添削を充実させる**
- ・理科において、**学校における実験結果の分析・考察のまとめを授業以外の場で作成させる**

※ **教科書発行者の協力により、学習活動の重点化等に資する年間指導計画参考資料を「子供の学び応援サイト」において周知**



《参考通知》新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた学校教育活動等の実施における「学びの保障」の方向性等について（通知）（令和2年5月15日 初等中等教育局長通知） https://www.mext.go.jp/content/20200515-mxt_kouhou01-000004520_5.pdf

《参考通知》学校の授業における学習活動の重点化に係る留意事項等について（通知）（令和2年6月5日初等中等教育局教育課程課長・教科書課長通知） https://www.mext.go.jp/content/20200605-mxt_kouhou01-000004520_1.pdf



高校入試で特定の受検生が不利益を被らないようにするための措置

実施者である都道府県教育委員会等に対して、令和3年度の高校入試における配慮を依頼

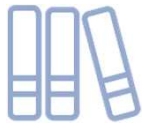
- ・出題範囲や内容・方法について、地域における学習状況を踏まえ、実施者の判断において、必要に応じた適切な工夫を講じる。

(工夫の例)

- ・中3からの出題が適切な範囲や内容となるよう設定する。
 - ・問題を選択できる出題方法とする。
 - ・面接・作文等の学力検査以外の方法も用いる。
- ・スポーツ・文化関係の行事・大会の実績や、資格・検定試験等の成績を評価する際、これらの行事等が中止・延期となってしまった場合は、参加出来た他の行事等の実績・成績等を評価する。
 - ・調査書において、出席日数や学習評価の内容、諸活動の記録や指導上参考となる諸事項の記載が少ないことをもって、不利益を被らないようにする。
 - ・中学校においては、進路指導をより一層丁寧に行い、志願先の入試の内容をしっかりと入学志願者に伝える。

※小学校や中学校等の入試についても、該当がある場合には、上記に準じた工夫を講じていただくよう、配慮を依頼。

※令和3年度の高校入試の日程は、各実施者において決定（例年、1～3月に実施されている）。



大学入試で受験生が不利益を被らないようにするための措置

総合型選抜及び学校推薦型選抜について全大学に配慮を依頼

(令和2年5月14日付)

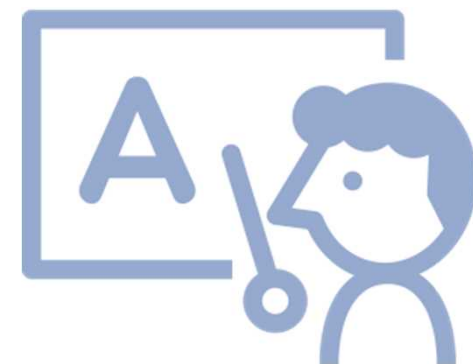
- ・中止・延期等となった大会や資格・検定試験等に参加できなかったことが**不利益にならないよう**、それまでの**成果獲得に向けた努力のプロセスや大学で学ぼうとする意欲を多面的・総合的に評価**すること。
- ・調査書について、出席日数や特別活動の記録、指導上参考となる諸事項の**記載が少ないこと**等が、**不利益にならないように**すること。
- ・**新型コロナウイルス感染症の拡大防止に留意**し、例えば、ICTを活用した**オンラインによる個別面接やプレゼンテーション**、入学後の学修計画書等の提出等を取り入れた**多様な選抜方法の工夫**が考えられること。など

《参考通知》高等学校等の臨時休業の実施等に配慮した令和3年度大学入学者選抜における総合型選抜及び学校推薦型選抜の実施について（通知）
（令和2年5月14日高等教育局長通知） https://www.mext.go.jp/content/20200514-mxt_kouhou01-000004520_5.pdf

令和3年度大学入学者選抜全体の日程等

- ➡ **一般入試を含めた入試日程、出題範囲、追試験の活用による受験機会の確保**等について、**全国高等学校長協会に対し、アンケート調査を依頼**。
- ➡ 高校・大学関係者の協議の場における審議を経て、**6月中**に策定・公表予定の「**令和3年度大学入学者選抜実施要項**」において**周知**。

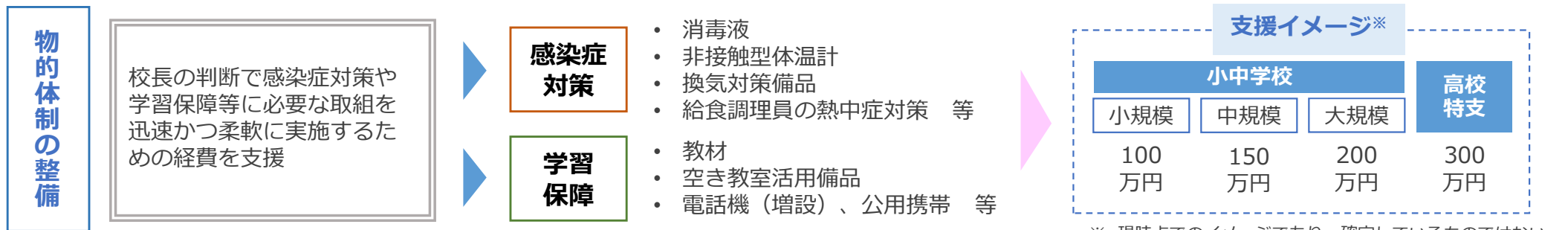
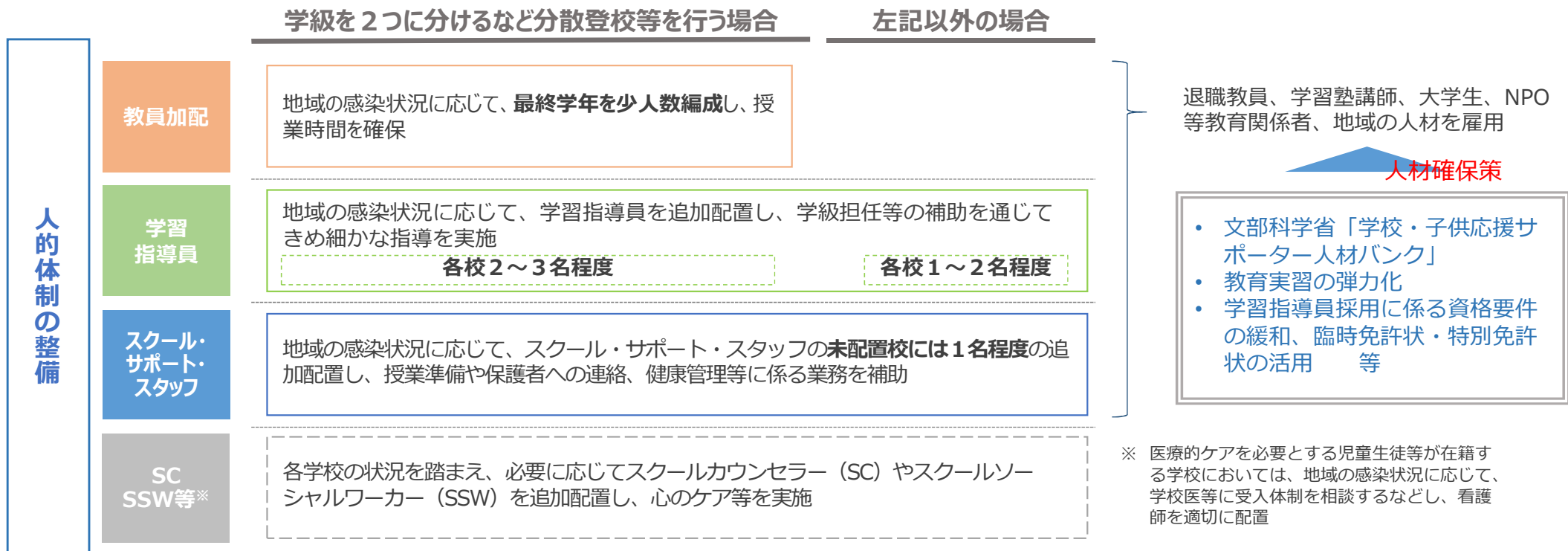
Ⅱ. 国全体の学習保障に必要な 人的・物的支援





国全体の学習保障に必要な人的・物的支援

加配教員や学習指導員等を大規模追加配置するとともに、迅速かつ柔軟に感染症対応や学習保障をするための学校再開支援経費を全小中高等学校等に措置



※ 現時点でのイメージであり、確定しているものではない。



国全体の学習保障に必要な人的・物的支援

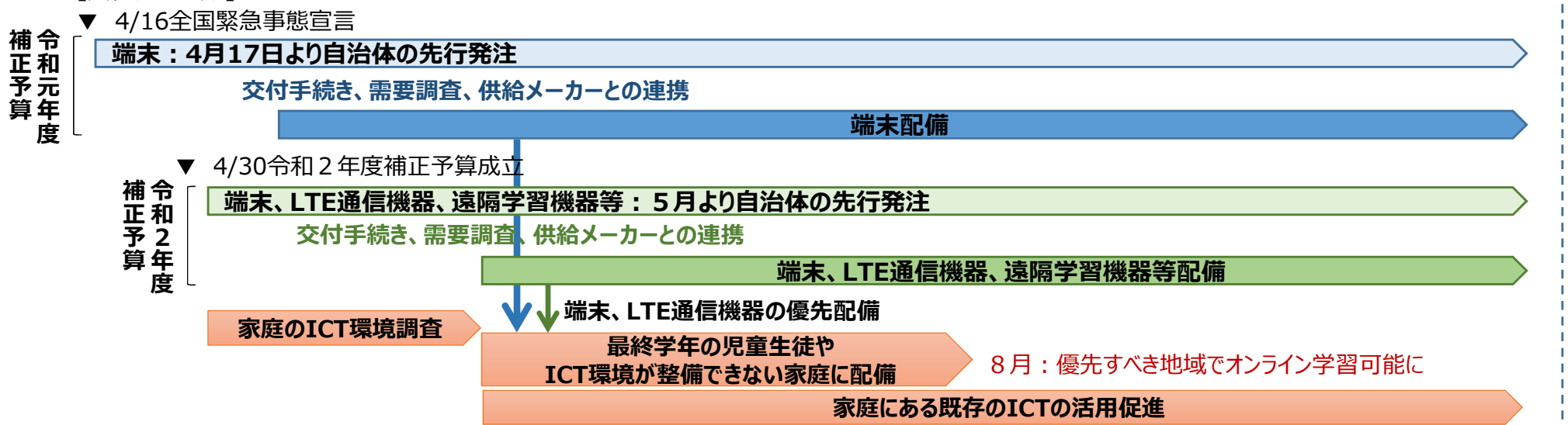
ICT端末を活用した家庭学習のための環境整備

GIGAスクール構想の加速による学びの保障

「1人1台端末」の早期実現や、家庭でも繋がる通信環境の整備など、「GIGAスクール構想」におけるハード・ソフト・人材を一体とした整備を加速することで、災害や感染症の発生等による学校の臨時休業等の緊急時においても、ICTの活用により全ての子どもたちの学びを保障できる環境を早急に実現
令和元年度補正予算 2,318億円、令和2年度補正予算 2,292億円

- まずは家庭のパソコンやタブレット、スマートフォン等の活用、学校の端末の持ち帰りなど、あらゆる機器や環境を最大限活用
そのために、各学校及び学校の設置者において、家庭の通信環境について至急把握
- 端末、LTE通信機器（モバイルルータ）、遠隔学習機器等について
 - ・自治体への補正予算交付決定を待たず遡りでの整備着手を可能とする措置
 - ・文科省で全国の需要を把握したうえで供給メーカー等業界と連携
 - ・迅速な調達を進めるための自治体への専門家による直接助言（令和2年5月～「ICT活用教育アドバイザー」の活用事業の開始）
 - ・自治体への早急な調達促進
 等に加え、必要に応じて地方創生臨時交付金も活用しながら、**8月には、特定警戒都道府県として指定された等優先すべき地域でICTを活用したオンラインによる家庭学習が全ての児童生徒に可能な環境を実現。**そのため、**少なくとも小学校第6学年・中学校第3学年等の最終学年の児童生徒や、経済的理由等でICT環境を準備できない家庭に対してICT環境が整備されることを目指す。**
- 家庭における通信費について
低所得世帯の家庭学習を支えるための通信費については、要保護児童生徒援助費補助金、特別支援教育就学奨励費、高校生等奨学給付金の特例的な追加支給により対応

【スケジュール】





国全体の学習保障に必要な人的・物的支援

教員免許状の有効期間延長による更新講習受講の猶予を認めることや学校向け調査・委託調査を一部中止し、「学びの保障」に集中する環境整備

教員免許状の有効期間の延長により、更新講習受講の猶予が可能である旨を通知

今回の非常事態が解消されたと認められるまでの間、教員免許状の有効期間の延長を行い、更新講習の受講を猶予することが可能である旨、都道府県教育委員会へ通知する。

《参考通知》新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた教員免許更新制に係る手続等の留意事項について（通知）（令和2年6月5日総合教育政策局教育人材政策課長通知） https://www.mext.go.jp/content/20200605-mxt_kouhou01-000004520_2.pdf

令和2年度の実施を見送る学校向け調査の例



全国体力・運動能力、運動習慣等調査



全国学力・学習状況調査



公立小・中学校における教育課程の編成・実施状況調査



公立高等学校における教育課程の編成・実施状況調査



高等学校等における国際交流等の状況調査



学校評価等実施状況調査

※その他の調査についても、調査実施の見送りや運用の弾力化を実施予定
※なお、新型コロナウイルス感染症への対応等で必要なものは実施

文部科学省から学校へ委託する各種事業についても一部実施を見送り



国全体の学習保障に必要な人的・物的支援

「子供の学び応援サイト」における学習支援動画のワンストップでの提示

「子供の学び応援サイト」 https://www.mext.go.jp/a_menu/ikusei/gakusyushien/index_00001.htm

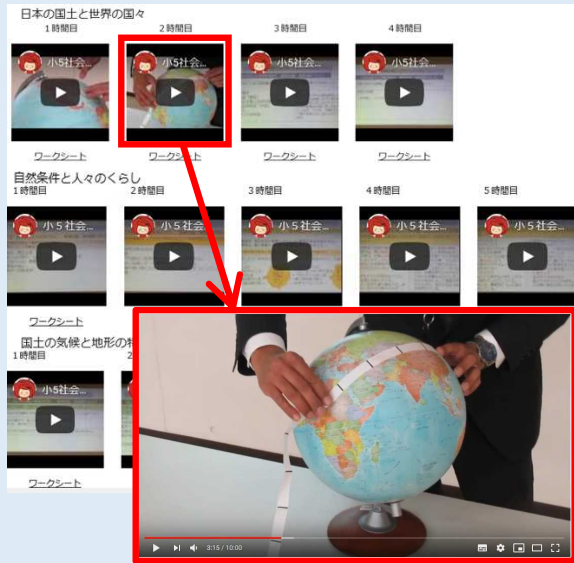
- 令和2年6月2日現在、リンク数400以上、延閲覧回数487万PV以上
- 官邸ホームページや文部科学省ホームページ、Facebook、twitter、LINE及び都道府県教育委員会等から周知



<教育委員会作成の家庭学習支援動画>

- 約110の教育委員会において、学習動画を制作し、自治体内の児童生徒に提供。
- 約30の教育委員会について、「子供の学び応援サイト」に掲載済みもしくは掲載予定（群馬県・茨城県・水戸市・さいたま市・世田谷区・横浜市・長野県・大阪府・箕面市・泉南市等）

例、茨城県教育委員会「いばらきオンラインスタディ」に、小1～中3の教科書別の学習動画460本を掲載



教科書に基づく学習動画等

東京書籍

- ・さいたま市教育委員会
- ・学校教育用デジタルコンテンツ利用の特設サイト(株式会社Lentrance) NEW
学校教育用デジタルコンテンツを、無償かつ申し込み不要で閲覧できます。開設時点では東京書籍株式会社の小学校向け学習者用デジタル教材(部分サンプル)が利用可能です。閲覧できるコンテンツは順次追加していきます。

啓林館

- ・長野県教育委員会

東京書籍・大日本図書・学校図書・教育出版・啓林館・日本文芸出版

- ・京都教育大学公式YouTube kyokyochannel

その他活用できる学習動画、ワークシート等

動画等

- おうちで学ぼう！NHK for School(NHK)
スマートフォン向けアプリあり

- ・群馬県教育委員会
- ・大阪府教育委員会
- ・徳島県教育委員会

ワークシート等

- おすすめキッズサイト一覧 算数・数学(一般社団法人教科書協会)
- なるほど統計学園(総務省統計局)
- 児童生徒用の学習支援コンテンツの紹介(教育出版)

<京都教育大学公式YouTube>

学生が作成した学習動画約2000本(多言語対応)を提供。文科省において、対応する各教科書のページ数を記載。

	東京書籍	大日本図書	学校図書	教育出版	啓林館	日本文芸出版
小6_分数のかけ算_式の立て方(日本語版)	p.41	p.92	p.48	p.55	p.45	p.45
小6_分数のかけ算_計算の仕方①(日本語版)	p.43	p.94	p.50	p.57	p.45	p.46
小6_分数_分数どうしのかけ算(日本語版)	p.47	p.101	p.56	p.60	p.50	p.51
小6_逆数_逆数を理解する(日本語版)	p.50	p.99	p.58	p.62	p.54	p.54
小6_逆数_逆数を理解する(日本語版)	p.50	p.99	p.58	p.62	p.54	p.54
小6_整数_逆数を理解する(日本語版)	p.50	p.99	p.58	p.62	p.54	p.54
小6_分数のわり算_概念_わり算の性質(日本語版)	p.57	p.110	p.64	p.70	p.61	p.62
小6_分数のわり算_概念_面積図(日本語版)	p.58	p.110	p.64			p.63
小6_分数のわり算_計算の仕方(日本語版)	p.58	p.111	p.65	p.71	p.61	p.63
小6_線対称(日本語版)	p.10	p.12	p.88	p.36	p.14	p.21
小6_対称な図形_四角形(日本語版)	p.19	p.20	p.98	p.45	p.22	p.28
小6_対称な図形_三角形(日本語版)	p.20	p.20	p.98	p.45	p.22	p.29

<NHK>

- 通常の子供向け学習番組(平日9:00~10:15等)に加えて、マルチ編成のサブチャンネル(平日10:25~12:00)において、特別編成での子供向け学習番組の放送
※「子供の学び応援サイト」に番組表を掲出

- NHK for Schoolでは、「ばんぐみ」を2000本以上、学習のエッセンスを簡潔にまとめた「クリップ」を7000本以上配信。臨時休業中の子供の学びを応援する特設ページ「おうちで学ぼう」を開設し、NHK for Schoolの家庭での効果的な使い方やおすすめの番組・動画を、学年ごとに紹介。



<放送大学>

- 放送大学のBS放送により、小中高生向けの家庭学習に役立つ番組を全国で放送



学習内容の定着のための教材の作成

○小学校6年生・中学校3年生の1学期頃までの学習内容の振り返りのための教材を作成

最終学年であり学習内容の確実な定着が必須の小学校6年生及び中学校3年生を対象にして、国語、算数・数学、英語の1学期頃までの学習内容について、学校での補習や復習での活用、生徒の自主学習での活用を想定

ICTをフル活用するための教育ICTシステム構築

○学びの保障オンライン学習システムの導入

児童生徒がパソコンやタブレットを用いてオンライン上で問題演習を行うことで、学習・アセスメントが可能となるプラットフォームの導入に向け、システムのプロトタイプの開発と実証を実施。（令和2年度補正予算：1億円）

○教育データの標準化

教育データの効果的な活用のため、データを相互に交換、蓄積、分析できるよう、学習指導要領のコード化を含めた教育データ標準を公表。